

今年は6月下旬から記録的な猛暑が続いています。73年前も、7月の梅雨明けから連日30度を超える暑い夏でした。今年は「明治150年」にあたります。その150年は、1945年を境に2つにわかれます。前半は10年おきに戦争を繰り返し、植民地拡大を図った「膨張主義時代」。後半は国として、1度も戦争に参加しなかった「平和主義時代」です。73年もの間、平和が続いたのには、日本国憲法が果たした役割が大きかったと思われます。今、その憲法を変えて、戦争をできる国にしようとする人がいます。暑い中ですが戦争展をじっくりご覧いただき、平和の大切さを実感してください。

所沢平和のための戦争展・歴史

(第1回 パンプ)

第1回 (1988)	所沢にも戦争があった
第2回 (1989)	中国帰還孤児をめぐって
第3回 (1990)	所沢から戦場へいった人々
第4回 (1991)	むかしここは基地だった
第5回 (1992)	基地のまち沖縄・読谷村
第6回 (1993)	「731部隊」展
第7回 (1994)	植民地だった朝鮮半島
第8回 (1995)	「にんげんを返せ」被爆50年
第9回 (1996)	教科書のなかの戦争
第10回 (1997)	「毒ガス」展
第11回 (1998)	地雷・731部隊と埼玉のネズミ
第12回 (1999)	ユーゴ・湾岸戦争
第13回 (2000)	「はだしのゲン」原画展
第14回 (2001)	市内小学校にあった奉安殿
第15回 (2002)	戦争と子どもたち
第16回 (2003)	空爆下の子どもたち(森住卓写真展)
第17回 (2004)	劣化ウラン弾 (森住卓写真展)
第18回 (2005)	軍隊のない国コスタリカ(森住卓写真展)
第19回 (2006)	遺棄毒ガス被害 (森住卓写真展)
第20回 (2007)	クラスター爆弾 (森住卓写真展)
第21回 (2008)	核も戦争もない世界に(久保田弘信写真展)
第22回 (2009)	核も戦争もない世界に(丸木作品パネル)
第23回 (2010)	核も戦争もない世界に(丸木作品パネル)
第24回 (2011)	核も戦争もない世界に(広河隆一写真展)
第25回 (2012)	核も戦争もない世界に(広河隆一写真展)
第26回 (2013)	核も戦争もない世界に(広河隆一写真展)
第27回 (2014)	核も戦争もない世界に(学童疎開)
第28回 (2015)	戦後70年 平和のバトンをつなぐ(核も戦争もない世界に)
第29回 (2016)	基地のある街から平和を考える(核も戦争もない世界に)
第30回 (2017)	基地のある街から平和を考える(核も戦争もない世界に)
第31回 (2018)	基地のある街から平和を考える(核も戦争もない世界に)



加害の歴史に向き合う

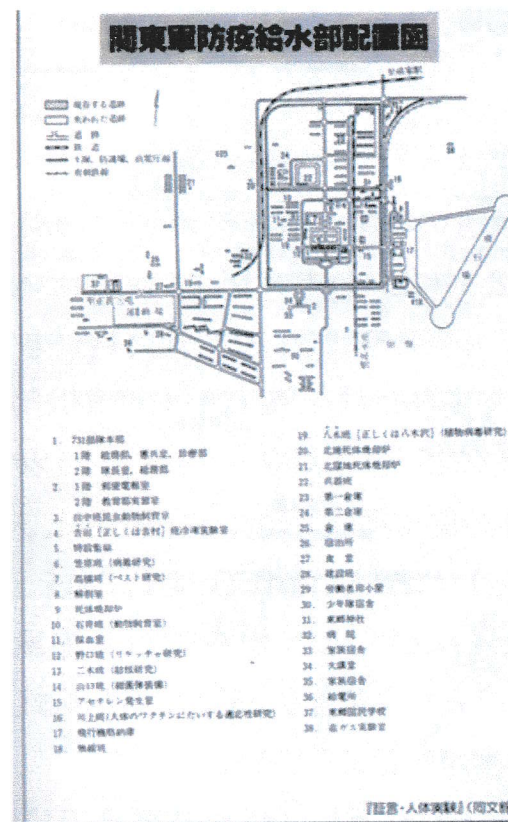
アジア太平洋戦争では、日本は310万人もの犠牲者を出しました。所沢でも、1311人も若者が戦場で命を落としました。

しかし、アジア全体では、2,000万人以上がなくなっています。日本が行った重慶爆撃、731部隊の生体実験・毒ガス・化学兵器の使用、南京事件、慰安婦問題など、加害の歴史に、目をつぶることはあってはなりません。

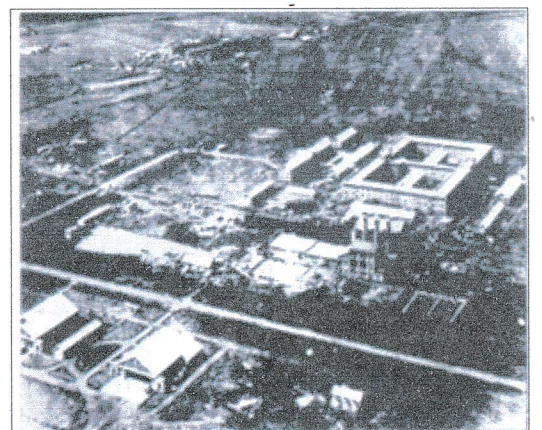
731部隊を知っていますか？

731部隊の事実、アジア太平洋戦争の中でも、最も隠された闇の部分です。

ハルビンから南へ25Km。731部隊の巨大な建物がありました。下の写真は建設中の施設の全景です。写真の右上にあるのが「口」の形をした通称「口号棟」、その手前に3本のボイラー室の煙突がよくわかります。



敗戦前夜、証拠を隠すため囚われていたマルタ(生体実験に使うために捕まえた人をそう呼んだ)を全員殺害し、施設のすべてを爆破して、石井四郎隊長以下、全員が日本に逃げ帰りました。3本の煙突と本部跡の一部が保存され、元部隊長室が「侵華日軍731部隊罪証陈列館」になっています。



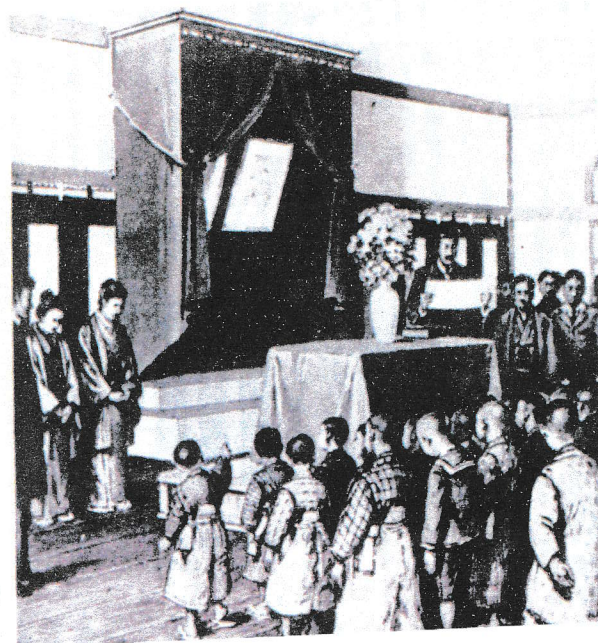
2018戦争展の呼びかけ人(順不同・敬称略)

高橋玄洋 君島和彦 浜田萌子 小松扶美子 市川治彦 山田 裕



教育勅語ってなに？

昨年2月、国会で森友学園(籠池泰典理事長)が幼稚園児に教育勅語を暗唱させていることが問題になりました。松野博一文科相は「教育勅語を教育の源泉として扱うことは適切でない。」と答弁しました。しかしその後、安倍内閣は教育勅語を教材に用いることを認める閣議決定をしています。また、義家弘介文科副大臣は「教育現場の朝礼などで教育勅語を朗読することは教育基本法に反しない限りは問題のない行為だ。」と国会で答弁しています。



第1章 教育勅語ってなに？



桐箱に納められた教育勅語原本・森友学園理事長所蔵

御名 御璽

明治二十三年十月三十日

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト
宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣
民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ
世世厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體
精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ在
爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦
及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智ヲ博
發シ徳ヲ成ルニ成ルニ進テ公益ヲ廣
ラ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ヲ遵ヒ一
緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無
ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ
カ忠良ノ臣民タルニ足ラス又テ爾
祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニ
テ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所ニ
今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シ
テ其
徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

教育勅語

1890年、明治天皇が国民道徳の基本と教育の根本理念を明示するため315の文字の文にまとめ官報などで公表されました。公式には「教育に関する勅語」といいます。形式は明治天皇が山県有朋内閣総理大臣と芳川顕正文部大臣に与えた勅語(天皇の言葉)という体裁をとっていますが、実際は井上毅・元田永孚などが作成。内容は親孝行、兄弟仲良く、夫婦は仲良くなど、国民が守るべき道徳を12の徳目で示しています。本質は12番目の「もし、日本の国に危険が迫ったら、国民は、天皇のために自分の身を捧げなさい(上写真赤線部)」にあるといわれています。これを全国の学校に配り行事・式典のたびに校長が恭しく読み上げました。学校には「奉安殿」がつくれ大事にしまわれ、火事などで焼失した学校長が自殺する事件が起きたりしました。そのため教員が学校に泊まり込む「宿直」の制度が戦後まで続きました。

1948年、教育勅語は日本国憲法、教育基本法に反しているとして国会で排除・失効確認の決議が採決されています。

【教育勅語と「御真影」】

子どもたちが、講堂に整列して「君が代」を斉唱する。校長は礼服に白手袋で、桐の箱から巻き物を取り出す。子どもたちは深々とおじぎをし、そのまま頭をたれている。校長が厳かな口調で、読み始める。「朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ」。正面には、天皇と皇后の「御真影」が掲げられている。「爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ一日緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ」。最後に、「御名御璽」と読み終えると、子どもたちはほっとして、鼻をすすりながら頭を上げる。

1890年、政府は、明治天皇の名で教育勅語を出し、全国の学校で、こうした儀式を行わせた。内村鑑三は、深くおじぎをしなかつたと言われ、教師をやめさせられた。1896年、三陸海岸を襲った大津波で、2万人以上が死亡した。岩手県の小学校教師・橋内泰吉は、天皇の写真を運び出すために学校にかけつけ、大波にさらわれて死亡した。火事や災害に備えて、学校では教師が宿直するようになった。

中学校社会科教科書 学び舎 「ともに学ぶ人間の歴史」より

特別な教科「道徳」がはじまります

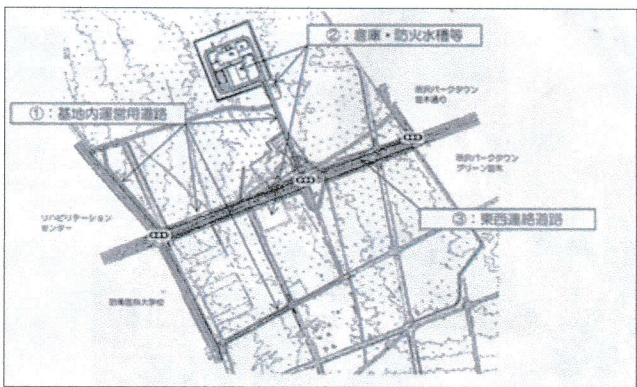
今までも小中学校では、週1時間「道徳」の時間がありました。しかし小学校では今年度から、中学校では来年度から「特別な教科・道徳」が始まります。今までも副読本はありましたが、これからは検定に通った教科書を使い年間指導計画に沿って授業がなされ、通知表に評価もされることになりました。

東西連絡道路について

所沢市の真ん中にアメリカ軍の通信基地が戦後73年経つのに、いまでも残っていることを知っていますか。その広さは、97万㎡(97ha)。西武球場の広さの25個分です。

その基地の真ん中に幅16m、長さ580mの道路の建設がすすんでいます。

6年前の日米合同委員会でアンテナ撤去作業費、道路工事費を日本側が負担することで合意しました。その費用は、当初の予算の3倍にも膨らみ、所沢市が17億円、日本政府が53億円 支払う予定です。2019年度中に完成する見込みです。



基地全面返還は市民の願い

所沢の基地は、1911(明治44)年、日本で最初の飛行場として開設され、戦前は陸軍航空技術学校がありました。戦後、米軍が進駐し、補給廠としての役割をもっていました。1967(昭和42)年、通信基地となりました。市民の全面返還の運動も大きく発展し、基地の70%が返還されましたが、まだ97万平方メートル(西武ドーム25個分)が通信基地として残っています。



米軍所沢通信基地内・写真でみる東西連絡道路工事現場の今！



ところざわ平和新聞64号2018年3月25日発行より

<米軍 所沢基地の歴史>

1945	9	12	米陸軍所沢進駐
1950	6		朝鮮戦争
1952			サンフランシスコ講和会議
			日米安保調印
1954			「核戦争反対に関する」最初の決議(ビキニ被災)
1960			安保闘争
1961			基地の一部返還を決議
1966			米軍北ベトナムを攻撃
			野戦病院設置反対の運動がおこる
1967			基地全面返還市民大行進(参加4,115名)
1968			基地対策協議会の発足
1970			兵站センター、相模原へ移転
1971			第1次返還(基地の60%が返還)
1972			跡地に「自衛隊くるな」の運動
1974			OTH(大陸弾道ミサイル探知装置)がわかる
1975	11	12	OTH撤去
1982			米戦略空軍通信網の増強計画「スコープシグナルⅢ」
			ジャイアントトークステーションの設置がわかる
1990			所沢市平和都市宣言の制定
1994			所沢基地返還運動推進大会(参加1,700人)
1997			入間河川敷に自衛隊のT33が墜落
2001	9	11	同時多発テロ
2004	8		基地内油流出事故
2005			核戦略近代化計画スコープコマンドが明らかになる
2006	6	8	平和の集い 第1次返還から35年
	7	2	所沢基地1周年平和ウォーク
2012	3		東西連絡道路建設が決定
			幅員は16m延長、約580m。面積は約9,400㎡
			2019年完成をめざす。
			当初、市の負担金は4億620万円、国の負担金は13億
			でしたが、2017年現在、3倍になり、基地対策協議会
			で検討しています。